

エコな暮らし 住暮楽な家づくり

Vol.7

「リノベーション」特集
2017年3月



[特集]
300年の時を経て、
現代に蘇るオールドヴァイオリン

[リポート]
エコリノ物語 ×6

住暮樂
sumikura

「リノベーション」特集Vol.7「エコな暮らし 住暮楽な家づくり」

■発行日：平成29年3月10日 ■発行・編集：株式会社 住暮楽 〒603-8821 京都市北区西賀茂柿ノ木町25 TEL075-495-8825 FAX075-495-8666

■制作：plan-doo ■印刷：株式会社 ASSIST

住暮樂
sumikura

<http://www.sumikura.net>

寒い、暗い、狭い、地震が怖い：

住暮楽のエコリノで
このような悩みを一掃しましよう



「エコリノ」って、ちょっとなじみのない名前ですね。 「エコ」と「リノベーション」を足して「エコリノ」です。スクラップアンドビルトの時代だった20世紀。でもこれからの住まいと暮らしは「エコリノ」が主流になるかも知れません。

リフォームとリノベーションはちょっと違います。リフォームは建物を修理、修繕、模様替えして新築当初の性能に戻すことを前提としますが、リノベーションは建物を抜本的に作り直して再生することを指します。ですからリノベーションでは、建物の用途が変更されたり、構造、性能がガラッと一新されるのが普通です。

住まいの性能には色々ありますが、最も要求が高いのは「夏の暑さ冬の寒さからの解放」でしょう。これを疎かにしてはエコリノとは言えません。使いにくい間取りを正し、自分たちのライフスタイルにあったものに変えたいという要求も満たさなければなりません。

住暮楽のエコリノは、新築と同じ心構えで設計にのぞみます。もちろん新築と違ってすでに建物があるので完全フリーの設計はできませんが、建物は土地の形状に合わせて建てられてますから箱としての形状は新築も旧築もあんがい似たり寄ったりで「この箱形状では絶望的だ…」なんてことは実は少ないので。住みにくい家の問題点は、箱の中の間取りや階段、窓や玄関の配置と形状、プラス断熱性能のお粗末さにあるのです。

そこで土地や周囲の条件を観察して「ここに窓があればキレイな景色が見える、ここは陽当たりが良いのでリビングに、階段はこの辺りから上がって、この方向は耐力壁が少ないのでここは壁に…」等々、まずは箱の内部の配置替えと同時に耐震強化を図りつつ理想の家を思い描いて、次にそれがコスト的技術的に実現可能かどうかを検討します。

持ち家だけでなく、中古住宅や中古マンションをリーズナブルに取得し、それを耐震的にも省エネ的にも向上させて、健康で安全な住まいにエコリノする人達が増えています。以下にその一例をご紹介します。

まだ、どんな暮らし始まるのか、実はあまり想像ができていません。

これから暮らし



file 05

中古物件購入はもちろんすべて初めての手続きであり、大きなお金もかかる」と、不安でいっぱいでした。しかし購入手続き後は、住む場所が決まり、工事してもらう業者さんも決まりた、ともう大きな仕事は済んだような安堵感を持つ洋介さんとの打ち合わせが始まりました。決めていたこと、相談したこと、たくさんあつたように思うのですが、気負いなく楽しく毎回事務所に家族全員で伺い、乐しかったな、というのが一番の感想です。聞きたいことは何でも聞きました。人見知りの子どもたちですが、ゆうさんやさやかさんが長い時間にわたって上手に遊んでくれたおかげで、事務所(おうちのおうち“と呼んでいました)に行くのをとっても楽しみについてくれました。とてもとても、ありがたいことだと思いました。

たたた二回のオープンハウスで決めた業者さんだうたけれど、自分たちの印象は間違つてなかつたと感じました。

不安から楽しみへ

でも、小さな前庭と後ろのお庭に花を育て、小さな鳥が来てくれるといいな、と思います。家も一つの道具と見立てて、手をかけ心をかけ、大事に使っていきたいと思います。子どもの成長を柱に刻んでいきたいと思います。やわらかい木の板についた傷やいろんな染み跡を、思い出としていとおしんでいけたらと思います。木と畳の温かい家で、近所の子どもたちもたくさん遊びに来てくれる、楽しい時間をたくさん過ごせる家になるんじやないかと、とうても期待しています。細かく私たちの希望を聞いて、しっかりと付き合つてくださった住暮楽の皆さん、ありがとうございました。これからもうろしくお願ひいたします。



たちちゃんと住むことができる物件かどうか、購入前に仲介の不動産業者さんに聞いてみました。返ってきたのは「めくつてみないとわからないですが、大丈夫だと思いますよ」という言葉。そのとおりなのは分かるのですが、何を根拠にそう言っているのかの話がないので不安は消えませんでした。不動産業者さんが紹介してくれた設計事務所の方の説明も同様の印象でした。

今住む町内はなかなか物件が出てこないので、ここに決められればという気持ちが強かったのですが、購入に踏み切れない中、住暮楽さんに電話をすると夕暮れの暗い時間でしたがすぐに来てくださいました。

一階の床下に潜り、二階の天井裏などを見て、その他機材を使って色々調べ、結果を分かりやすく説明してくれ、その上で「詳細はめくつてみないとわからないですが、いい物件だと思いますよ。いい家になると思いますよ」と社長が言ってくださいり、不安は消えました。その薄暗い中で聞いた洋介さんの改装案も心強く、この物件を購入して住暮楽さんへ改修をお願いしようと決めました。

